

当院では、保管する下記の残余検体・診療情報等を下記研究機関に対して提供しています。
研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

腎生検で診断の得られた希少 6 腎疾患の臨床像と病理学的特徴の検討に関する研究

【目的】

腎疾患の確定診断は腎生検によって行われますが、希少 6 腎疾患（Castleman 病・クドウ深瀬症候群・TAFRO 症候群/原線維性糸球体腎炎・イムノタクトイド糸球体症・アミロイドーシス/IgA 沈着による膜性腎症/高リン脂質抗体症候群/クリオグロブリン血症性糸球体腎炎/ Light chain proximal tubulopathy）は症例数が限られており、臨床病理学的特徴の詳細は明らかになっていません。本研究では、診断のために行われた腎生検の検体を利用してそれぞれの疾患の特徴を病理学的に解析し、臨床所見との関連性を明らかにすることを目的としています。

【対象】

1991 年 1 月～2024 年 3 月までに当院において腎生検により上記希少 6 腎疾患と診断された方

【方法】

診断のために採取した腎生検検体および診療情報を利用します。診療情報は診療記録より当院医師が情報を収集し、調査票へ記載します。この腎生検検体および調査票は研究代表者へ宅配便にて送付され、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は、特定の個人を識別することができない状態で利用しますので、お名前などの情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、既往歴、臨床検査値、血圧、治療内容 等）

腎生検検体（過去に診断目的で採取されたもの）

【試料・情報の取得方法】

診療情報：診療の過程で得られた情報、試料：診断目的で採取された腎生検検体

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2025 年 3 月 31 日まで

【研究代表者】

日本医科大学付属病院 病理診断科／解析人体病理学 清水 章

【共同研究機関】

市立大津市民病院、KKR 札幌医療センター、横浜市立大学附属市民総合医療センター
岩手県立中央病院、亀田総合病院、京都第一赤十字病院、釧路赤十字病院、慶應義塾大学
香川大学医学部附属病院、埼玉県済生会川口総合病院、札幌医科大学、北海道大学 等

【当院の責任者】

横浜市立市民病院 病理診断科 林 宏行

【試料・情報の提供を行う機関情報】

横浜市立市民病院 病院長 小松 弘一

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1 番 1 号

電話 045-316-4580（病院代表） 病理診断科 林 宏行

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。

Ver2.0 2023/1/4